

## 中小・零細の縫製工場をネットワーク化 衣服生産のあらゆる課題を解決

事業所数や出荷額が激減しながらも、従来の取引構造が固定化していた縫製業界に新たな仕掛けを作り出したシタテル株式会社。

同社は、閑散期の顧客獲得に苦しむ縫製工場と小ロットでカスタマイズされた衣服を求める販売事業者を結びつける役割を果たすプラットフォームを構築した。



### プロジェクトの経緯

同社は2014年3月に設立されたファッション系のベンチャー企業である。本社は熊本市にあり、東京にも拠点も置いている。同社は縫製工場と販売事業者の間に入り、中間サービスの担い手となっている。

従来の縫製業界は取引構造が多重になっており、縫製工場と小売店の間には中間業者が多数存在し、彼らの既得権益で硬直化していた。また、全国的に縫製業界の経営状況も苦しい状態にあり、生産の閑散期をいかに無くすのかが経営を安定させる最重要課題であった。

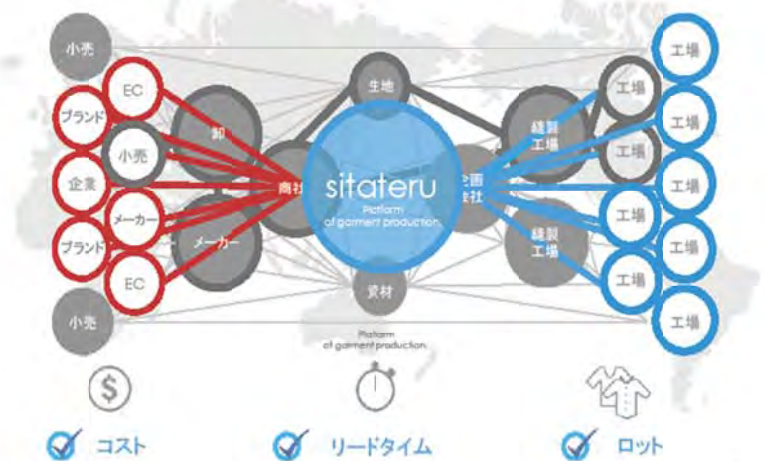
さらに、縫製工場の製作ロットは基本的には大手ブランドの大量生産に対応したものであり、小規模のアプリレルショップやECサイトで販売するような小ロットのニーズへの対応が乏しかった。結果的に、コストも高く、納品までに長時間を要する状況にあった。洋服を販売する側もどこに相談すれば、自分が作りたい洋服や売りたい洋服を作ることができるのかが分からない状況も存在していた。

▼シタテルの体系図

代表取締役の河野氏は当時、コンサルティングとして関わる中でこのような業界の課題を見聞きし、業界内から新しい動きは出てこないと判断し、自分の手で課題解決に踏み切ることを決意した。縫製業界自体も全くIT化が進んでおらず、データによる経営や生産管理を導入することで好転できる部分も多いのではないかと考え、2014年3月にシタテル(株)を設立し、衣服業界のプラットフォームの提供をスタートさせた。

設立後、同社は縫製工場と販売事業者の間に存在していた商社や卸会社、企画会社、メーカーの中間層を省いた形で、縫製工場と販売事業者の間に入り、洋服を作りたいニーズと閑散期を埋めたい縫製工場を繋ぐプラットフォーム「シタテル」を構築した。

### シタテルの事業により解決



資料) まち・ひと・しごと創生本部 第4回地域しごと創生会議資料より抜粋

## 導入理由

日本の繊維産業は、非常に厳しい時代を迎えている。まず、繊維産業の製品出荷額は 1991 年の 12.6 兆円をピークに 2014 年は 3.8 兆円と約 1/3 以下まで減少している（2016 年、経済産業省）。

また、バブル経済の崩壊を契機に経済情勢が厳しさを増す中で、価格の低下圧力が増し、製造原価の低下を加速させたことで、繊維産業の素材や製品の海外調達を誘発した。そのため、国内繊維産業の事業所数・従業者数は激減している。1985 年当時は、事業所数が 6.6 万カ所、従業者数が 115 万人だったが、2014 年には 1.3 万カ所、27 万人まで減少している（2016 年、経済産業省）。

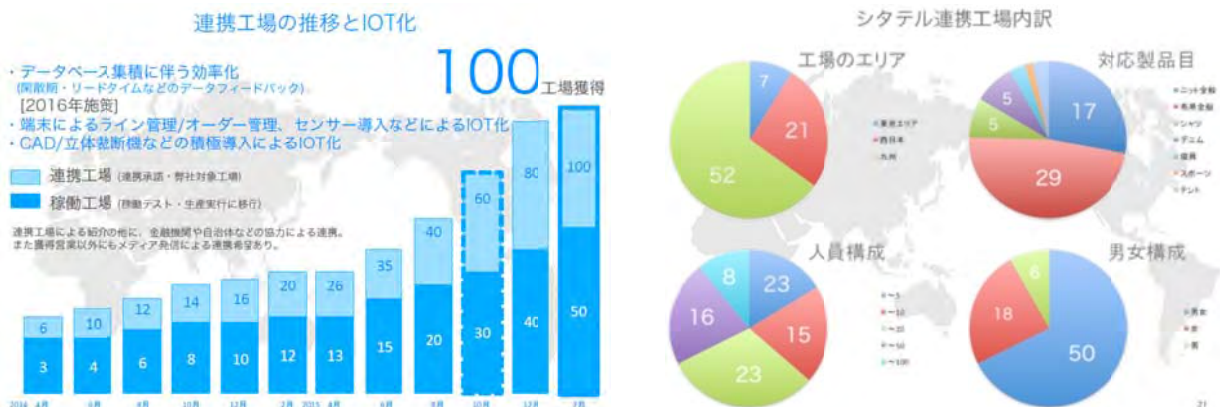
このような厳しい縫製業界の旧態依然とした取引構造を刷新するためにも、新たな関係性を構築するプラットフォームを作ることが求められていた。

## システムの概要と導入メリット

ユーザー（販売事業者）と縫製工場はシタテルのサイトに会社名やメールアドレスを登録する。同社は、ユーザーとチャットを利用して双方向にやりとりを行い、デザインの CAD データもシステム上で受け取る。また、ユーザーのニーズに合わせて、必要な技術や生地等の情報をシステムに入力すると、最適な縫製工場を検索することもできる。当初は、登録工場数が 3 カ所からスタートし、現在は 200~250 カ所が登録されている。

同システムのメリットは、縫製工場にとっては、新規顧客の獲得を代行している点である。一方で、販売事業者にとっては、小ロットでカスタマイズされた商品を販売できる点や個人のものづくりへの参入を容易にした点、アイデアベースのものをカタチにできる点などがある。

### ▼「シタテル」連携工場の概要



資料) まち・ひと・しごと創生本部 第4回地域しごと創生会議資料より抜粋

## 本プロジェクトの今後の展開

今後、プラットフォームの機能として、ユーザーに加え、工場、デザイナーなどサプライヤーが利用できる仕組みも、機能として追加していく予定である。また、縫製工場の稼働状況を把握するために、機械の稼働率を見るセンサーを自社で開発し、実証的に導入している。直接的なやり取りで得られる情報に加えて、センサーからリアルタイムの稼働状況も把握し、より正確な情報を得ることを目指す。

さらに、誰もがプラットフォームを利用できるように API 提供なども含め業界全体に貢献できるような仕組みを作っていく方針である。

シタテル株式会社

<https://sitateru.com/>

〒860-0834 熊本県熊本市南区江越 1 丁目 10 番 18 号